

金城ヨシヒデだより



名護市議会議員 金城善英 議会報告



ごあいさつ

読書の秋、スポーツの秋などと呼ばれる季節になりました。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

今回の名護市定例会におきまして、子ども医療費助成事業で通院費の増額分が盛り込まれた名護市一般会計補正予算(第3号)の可決のより、中学校卒業までの子どもの医療行政が大きく充実します。11月診療分から適用されま

す。子育て世帯の経済的負担の軽減や子どもの医療・健康行政など子育て支援に大いに資するものと考えます。子育て支援策のひとつであるこの医療費助成事業は平成6年10月に一歳未満から始まり、公明党がねばり強く推進してきたもので、本市の歴代の先輩議員から20年来の

取り組みの成果を考えると、党員、支持者の皆様が力強いご支援あればこそであり心から感謝申し上げます。

去る10月1日、安倍晋三首相が現行の5%の消費税率を2014年4月から8%に引き上げると表明したことを受け、公明党の山口那津男代表は、「厳しい財政状況の下、少子高齢化、人口減少社会での社会保障の費用を安定的に確保し、持続可能な制度にしているために必要な一体改革だ。その意義の下に、今回の消費税率引き上げの判断に至った。」と見解(大要)を述べました。また、今度の8%への引き上げに伴う低所得者対策である「簡素な給付措置」については、給付の対象者、総額が大幅拡充されたと評価し、10%引き上げ時の軽減税率導入についても今年末に一定の結論を得るとしました。

議会報告

皆様方のますますのご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

第172回名護市定例会(9月定例会)は、平成25年9月5日から9月19日までの会期で行われました。平成25年度一般会計補正予算(第3号)を含む市長提出議案13件、認定7件、報告1件、陳情7件、また、追加議案として市長提出議案1件、陳情1件、議員提出の意見書案4件、が審議されました。そのほか陳情7件はそれぞれ常任委員会へ付託され審議されました。審査の結果につきましては名護市議会ホームページか「なご市議

会だより」第93号(12月初め配布)の議案処理結果一覧をご覧ください。

9月定例会一般質問から要旨

ここでは、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨をご報告いたします。

一、子育て支援について

質問(1) 学校給食費(3人目以降無料)のさらなる無料化の拡充について

答弁 3人目以降の給食費補助については、定着に向けて実施していく。今後、2人目は半額にするとか財政面も含めて検討していく。

質問(2) 子ども医療費無料化の拡充と自動償還払い方式導入の取り組みについて

答弁 今議会の補正予算に、通院費助成の対象児童の年齢拡大を図るため、中学卒業までの必要予算を提案しております。また、支払い方法については、平成26年度の早い時期の導入を目指して、システムの改修や医療機関との調整など、必要な取り組みを進めたい。

質問(3) 子ども医療費の現物給付方式(窓口支払いなし)の導入について

答弁 本市の考え方と沖縄県の考え方について
 答弁 本市の国保の財政運営に与える影響が大きいことから現状では厳しいと考えている
 一、他都道府県、県内市町村の現物給付方式導入状況について

答弁 全国では、36都道府県において現物給付方式が導入されているという調べがあります。また、導入した場合の医療費の伸びが平均的に1.8倍になっているようです。

二、児童生徒のスポーツや文化活動支援について

(1面からつづく)

質問(1) 名護市子ども夢基金の運用状況について
答弁 平成22年に開設された基金で一般会計から一千万円づつと、市民の皆様からの寄付金で賄われており、今日現在、37,396千円の積立金がございませう。

質問(2) 名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金の交付状況について
答弁 平成24年度は、小・中・高校生合計で166件、児童生徒数596人、監督コーチ数27人、11,171千円の補助を行っています。

質問(3) 名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金の補助率の拡充と条件緩和について
答弁 補助率9割へのアップ、コーチ2人目の補助については、先行きいろいろなことに備えなければならぬので夢基金の積立て状況を見ながら考えていきたい。

三、スポーツ振興について

質問(1) 少年野球場の外野の整備について
答弁 野球連盟の学童名護ブロック事務局と養生を設けた利用方法や利用後のグラウンド整備などの維持管理方法、グラウンドの改善部分について調整しております。利用者側の意見を伺いながら改善していきたい。

質問(2) 第2野球場の夜間照明灯設置の取り組みについて
答弁 平成23年度に実施設計を終え、平成25年度に整備に着手予定ですが、平成24年度に照度に関する指針の改定があり、外野の照度を150ルクスから200ルクスにするため、現在、設計の見直しを行っています。工事は、日ハムのキャンプの時期を勘案しながら発注する予定です。

四、介護保険制度について

質問(1) 介護保険料(65歳以上の人)の決め方

について
答弁 住んでいる市町村が算出した基準額を基に所得や世帯の課税状況などに応じて決めています。

質問(2) 介護保険料の県内各市と町村を含めた比較について
答弁 沖縄県の平均月額が5,880円です。で、ほぼ同額の5,820円で全体の中間位です。

質問(3) 介護保険制度の将来の見直しについて
答弁 厚生労働省の推計では、12年後の2025年には現行の制度で試算すると現在の全国平均4,972円から8,200円程度になる見通しです。

五、道路行政について

質問(1) 市道名護38号線(一方通行道路)の改修と逆走防止策について
答弁 市単独事業では困難で、当面は、修繕等の維持管理をしていきたい。逆走防止策については総務部、関係機関と対策を協議する。

質問(2) 市道名護59号線と市道名護58号線の交差点の横断歩道、停止線、滑り止め舗装等の安全対策について
答弁 総務部、関係機関と協議を行い改善を図りたい。

六、住宅行政について

質問(1) サービス付き高齢者向け住宅の普及促進について
答弁 当住宅のニーズは高まっているものと考えています。今後も民間事業者による整備等については、関係機関との連携や調整を図りながら高齢者の生活支援の観点に立って対応したい。

質問(2) いさがわ市営住宅の擁壁の空洞について
答弁 現場を確認し修繕の工事を発注し、完了しております。



2013/8/5 午後4時ごろ、米軍嘉手納基地所属のHH-60ヘリ墜落現場(キャンプ・ハンセン内)で消火活動する別のヘリと各社報道陣

やさしく、深く、面白く、役に立つ政治を毎日わかりやすくお伝えする**公明新聞**を読んでみませんか?
日刊(1ヶ月1,835円/税込)
激しく移り変わる社会・政治の動きを正確な報道で伝えてまいります。
お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259

無料法律相談のご案内

公明党無料法律相談
日時 毎週土曜日 午後2時から午後4時まで
場所 公明党沖縄県本部 (098-862-0210)
(最終土曜日は沖縄市の金城ツトム事務所 098-921-1000)

法テラスコールセンター
電話 0570-078374 平日午前9時~午後9時まで
土曜日午前9時~午後5時まで

名護市無料法律相談
日時 毎月第2、第4火曜日(祝祭日は繰り下げて開催)
場所 名護中央公民館2階 第4研修室(電話予約可)
受付時間 8:30~17:15(平日)相談時間 13:00~16:00
問い合わせ先 名護市役所総務課 ☎53-1212(337)

名護市消費生活無料相談室(毎週月・木曜日 10:00~16:00)
場所 名護市役所西棟一階守衛室内 ☎53-1212(内線348)